

日本遺産「播但貫く 銀の馬車道・鉱石の道」
馬車復活業務 仕様書

事業名	馬車復活事業	管理番号	
団体名	日本遺産「銀の馬車道 鉱石の道」推進協議会		
部署			
作成日		版	
作成者		作成者印	
請負会社名称			
部署			
承認日			
承認者		承認者印	

見積仕様書

馬車復活事業

対象
作成日

要求内容

要求区分

背景

兵庫県中央部の播但地域。そこに姫路・飾磨港から生野・鉢山へと南北一直線に貫く道があります。この道は、明治の面影を残す宿場町を経て鉢山まで、さらには歩を進めると各鉢山の静謐とした坑道にたどり着きます。近代化の始発点にして、この道の終着点となる鉢山群へと向かう旅は、鉢山まちが放ついぶし銀の景観と生活の今昔に触れることができ、鉱物資源大国日本の記憶へといざないます。

姫路市、福崎町、市川町、神河町、朝来市及び養父市の6市町が申請を行った上記ストーリー「播但貫く、銀の馬車道 鉢石の道」が、このたび文化庁により日本遺産に認定されました。

この日本遺産認定と同時に、沿道に道の駅「銀の馬車道・神河」が新たに道の駅認定を受け、11月にオープンします。

目的

道の駅「銀の馬車道・神河」が新たにオープンすることとなり、これと合わせ往時の馬車道を馬車で通った様子を体感する機会を提供し、日本遺産と馬車道の普及啓発に努めるとともに、この地域の魅力を発信していきます。

見積仕様書

馬車復活事業

対象
作成日

要求内容

要求区分

1 概要

道の駅「銀の馬車道・神河」のオーブニングイベント内で、イベント参加者を対象に馬車体験コーナーを設置し、往時の馬車による旅の気分を味わってもらおう。

2 費用の見積

イベントの馬車体験コーナースペースを設置する

・馬の用意 (エサ代含む)

・馬の搬送費用

・馬車の用意

・馬車の搬送費用

・体験ブースを運営する人材の派遣・配置

3 イベント (道の駅「銀の馬車道・神河」のオーブニングイベント内)

①日時：平成29年11月25日 (土)～26日 (日)

②場所：兵庫県神崎郡神河町吉富「知川原池周辺」

③内容：

・道の駅「銀の馬車道・神河」のオーブニングイベント内で、現存する銀の馬車道の発掘調査地点である「知川原池周辺」を起点に神河町杉地内の旧道 (約1km往復20分程度) の2地点間で馬車を走らせる。(5～8往復/日程度)

4 その他

馬車のデザイン等の要件

・明治初期に往来したと思われる馬車をできるだけ忠実に復元したものを使用

・家族連れ4～8人程度が乗れる規格